

刺繡

福田喜重のわざ

工芸技術記録映画シリーズ

32

教育映像祭最優秀作品賞・文部科学大臣賞
文部科学省選定

この映画は、重要無形文化財「刺繡」の
保持者である福田喜重が、

日本の伝統工芸・刺繡の技術により、

訪問着「和（やまと）」を完成させるまでを

克明に記録したものです。

刺繡は、ただひたすら「針」針刺していく、

集中力と根気の必要な仕事です。

しかし、その技を組み合わせると

織りや染めにならない、刺繡独特の

表現も可能です。

映画の中で、刺繡の仕事に

情熱を傾ける福田喜重が

刺繡の技の世界について語ります。



企画◆文化庁

製作◆株式会社桜映画社

協力◆京都国立博物館

東京国立博物館

東京国立近代美術館

細見美術館

喜多院／高台寺／興福院

福田工芸染織研究所

カラー 34分 記録

販売価格（消費税込）

16ミリ……………262,500円

VHS・DVD……………52,500円

（ライブラリー価格・団体使用権付）

10,500円

（個人価格）



刺繡

福田喜重のわざ

福田喜重

◆ふくだきじゅう

昭和7年京都府生まれ。昭和23年刺繡の名手である父の福田喜三郎に師事し、多くの繡法と各種の伝統的な刺繡技法を体得した。刺繡技法による表現の可能性を追求し、活発な制作活動を展開している。平成9年重要無形文化財「刺繡」の保持者に認定(人間国宝)。平成11年紫綬褒章受賞。



繡い台に向かう福田の一針一針。
指先に全神経を集中させ、一日1万針を繡い込む。
研ぎ澄まされた精神の持ち主だからできる「わざ」である。

福田の刺繡の特徴は、従来分業で行われていた生地を選択、地染め、箔押しなどを自ら手がけ、一貫した制作を行うところにある。映画では、作品の構想から下絵、引き染め、彩色、箔置き、繡までの一貫制作を工程順に追い、記録する。そして刺繡本来の重厚な雰囲気、現代的に表現する福田の「わざ」、その創作の世界を描き出す。

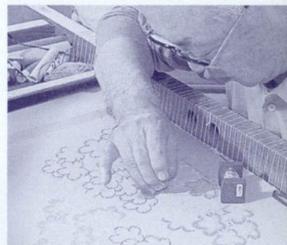
◆「和(やまと)」制作行程



新作の草稿を描く

新作の構想を練る福田。
今回は好きな桜の花をモチーフの中心に実物大の草稿紙の上に桜の文様を描いていく。

枠台張り



繡いの開始

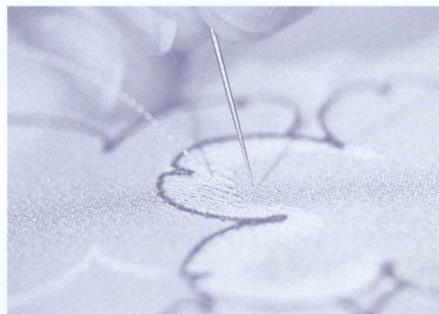
いよいよ繡いの仕事が始まる。まず、桜の花の輪郭を「駒繡(こまぬい)」という繡技で表現する。



糸然り

「刺繡」による面の表現

花の花卉の中は福田独自の解釈による「刺繡」で表現する。刺繡は、平面を繡いつめる技法で、一つの文様を何段階かにわけ、外側から内側へと一針々々長短をつけて不揃いに繡い、文様全体を繡いつめていく。



完成作品

構想から繡いが終わるまで約四ヶ月。ようやく「和(やまと)」と名付けられた福田の新作、刺繡訪問着が完成する。全体に調和のとれた明るく、匂うような気品がある作品である。

◆製作スタッフ

製作	山本孝行
脚本・演出	村山正実
演出補佐	山田和広
撮影	西山東男
撮影助手	森英男
	山屋恵司
照明	本橋俊男
ネガ編集	加納宗子
選曲	徳永由紀子
録音	荒井富保
	アオイスタジオ
タイトル	菁映社
現像	イマジカ
解説	杉本るみ

染め・織り その伝統のわざと心を伝える

あや
彩なす首里の織物—宮平初子—

40分 / 16ミリ / VHS

●教育映像祭最優秀作品賞・文部科学大臣賞
●毎日映画コンクール記録映画文化賞●日本紹介映画●ビデオコンクール奨励賞●文部科学省特選 他

友禪—森口華弘のわざ—

30分【外国語版あり】 / 16ミリ / VHS / DVD
工芸技術記録映画シリーズ・16

●教育映画祭優秀作品賞・文部省選定●日本映画バンククラブ推薦

芹沢銈介の美の世界

35分【外国語版あり】 / 16ミリ / VHS

●芸術祭大賞●教育映画祭優秀作品賞●文部省選定●優秀映画鑑賞会推薦

芭蕉布を織る女たち—連帯の手わざ—

30分【外国語版あり】 / 16ミリ / VHS

●芸術祭優秀賞●毎日映画コンクール教育文化映画賞●キネマ旬報ベストテン第3位●日本産業映画賞●文部省選定

伊勢型紙

30分【外国語版あり】 / 16ミリ / VHS

●芸術祭大賞●教育映画祭最優秀賞・文部大臣賞●キネマ旬報ベストテン第1位●毎日映画コンクール教育文化映画賞●文部省選定

製作 株式会社 桜映画社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-20-1 千駄ヶ谷ビル4階
TEL:03-3478-6110 FAX:03-3478-5966
http://www.sakuraeiga.com